

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	乳癌術後 TC 療法における発熱性好中球減少症 (FN) 発症予防と、治療の relative dose intensity(RDI)に関する検討
	研究目的	「TC 療法中の FN の発症が RDI に及ぼす影響」と「Peg-G 導入前後における FN の発症頻度とそれぞれでの TC 療法の RDI」を検討する
	研究対象者	2011～2018 年に神奈川県立がんセンター乳腺内分泌外科で、補助化学療法として TC 療法が施行された患者
	研究期間	西 暦 2019 年 6 月 12 日 ～ 西 暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	乳腺内分泌外科 医師 松原 由佳
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	なし
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし